

本教会へ初めて来られた方々を  
心から歓迎いたします。  
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

## 教会の働き

## ■ クリスマス主日礼拝&amp;教会クリスマス会

本日の主日礼拝では、主イエス様のご降誕を心から喜び、感謝をもって礼拝をささげました。午後からは、教会のみなさんと共に喜びのクリスマス会を行います。主にある交わりと喜びのひとときを、共に分かち合いましょう。

## ■ 来週は、今年最後の主日礼拝となります。一年の歩みを主に感謝しつつ、心を整えて礼拝に臨みましょう。

## ■ 12月31日(火)は送迎礼拝を行います。

夜11時より新年を主とともに迎え、祈りの時を持ちます。新しい年に向けて、新年祈祷題目を三つあらかじめ用意してご参加ください。礼拝の中で祈祷カードを書く時間も設けられています。

皆さまのご参加をお待ちしております。

## 聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんのがに。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



## クリスマス主日礼拝

## 栄光と平和

ルカの福音書 2:14

「いと高き所で、栄光が神にあるように。  
地の上で、平和がみこころにかなう人々  
にあるように。」

## 来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 松島スヤンティ(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 平澤寿子(祈祷)

送迎礼拝 柳澄香(司会) 鈴木真由美(祈祷)

## 礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校 (小学生まで)	AM 9:50~10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30~9:30
土曜日	PM 8:00~9:00

ことはは人となり、私たちのうちに住まわれた。主のご降誕の恵みを覚え、共に喜びましょう。

## クリスマス主日礼拝

宗教法人 イエス・キリスト

## 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

[www.iidahc.com](http://www.iidahc.com)

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

## クリスマス主日礼拝

	AM 11:00~
賛美リード (使徒信条)	柳澄香
信仰告白	高木はつ江
代表祈禱	インマヌエル聖歌隊
特別賛美	ルカの福音書 2:14
聖書個所	(栄光と平和)
メッセージ	柳承吉牧師
聖餐式	讃美歌 205
賛美	神の家族
祝祷	柳承吉牧師

## クリスマスお祝い礼拝

PM 2:30~

賛美リード	柳澄香
代表祈禱	北原孝子
聖書個所	マタイの福音書 1:23
	(インマヌエルの神様)
メッセージ	柳承吉牧師

## 2部 クリスマスパーティー

## 水曜礼拝

PM 7:00~

司会	クリスマスお休み
代表祈禱	
聖書個所	
メッセージ	
主の祈り	

## 今週の御言葉

栄光と平和 ルカの福音書 2:14 **クリスマス主日**

**メリー・クリスマス。**今日は、喜びと感謝に満ちたクリスマス主日です。私たちは今日、イエス・キリストのご降誕が、どのように神に栄光をもたらし、地に平和をもたらしたのかを、ルカの福音書 2 章 14 節の御言葉から聴いてまいります。

世が語る平和と、神が与える平和

ルカ 2 章 1~2 節は、ローマ皇帝アウグストゥスの住民登録の命令から始まります。アウグストゥスは、ローマ世界に「平和(パクス・ロマーナ)」をもたらした皇帝であり、「救い主」「主」「神の子」と宣伝されていました。しかしエルカは、ここで意図的に対比を示します。ローマ帝国が語る平和と天が宣言する、神のまことの平和。天使たちはこう賛美しました。「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」この平和は、政治や武力による平和ではなく、神との関係が回復されることによって与えられる平和です。神の栄光が現された出来事としてのご降誕

神は、救いの最初の知らせを、王宮ではなく野原で、宗教的エリートではなく羊飼いたちにお伝えになりました。羊飼いたちは、当時、社会的にも宗教的にも低く見られていた人々です。しかし神は、彼らを選ばれました。これは、ルカ福音書全体の主題である「恵みの逆転」「低さの中に現れる救い」を示しています。

では、なぜイエス様の誕生は神の栄光となったのでしょうか。それは、人間が神に栄光を帰したからではなく、神ご自身が、ご自身の栄光を現された出来事だったからで

す。受肉は、単なる愛の表現ではなく、神の救済計画が歴史の中に現れた「栄光の啓示」です。イエス様がこの地に来られた瞬間から、神の永遠のご計画は、すでに成就し始めていたのです。

飼い葉桶に現れた、逆説の救い

イエス様は、王宮ではなく家畜小屋でお生まれになりました。飼い葉桶に寝かされた救い主。これは、人間の期待とは正反対の救いのかたちです。しかし、靈の目が開かれた人々は、その中に栄光を見ました。東方の博士たちは、「ひれ伏して礼拝した」(マタイ 2:11)とあります。彼らは、幼子イエス様を肉の目だけで見たのではなく、靈によって見たのです。神の救いは、外見ではなく、神が示される恵みによって理解されるのです。

十字架によって完成した平和

イエス様の歩みは、十字架へと向かいました。人々は、イエス様の苦しみを見て、神に打たれているのだと嘲りました。しかし聖書は語ります。「彼への懲らしめが私たちに平安をもたらした」(イザヤ 53:5)十字架は失敗ではなく、神の救いの完成でした。罪によって隔てられていた神と人との間の壁は、十字架によって打ち壊されました。「実に、キリストこそ私たちの平和です。」(エペソ 2:14)「地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように」この言葉は、平和がすべての人に自動的に与えられるものではなく、神の恵みの中に生きる者に与えられる賜物であることを示しています。イエス様がこの地に来られたのは、私たちに真の平安を与えるためであり、また私たちを平和をもたらす者とするためでした。どうか、主イエス・キリストによる平安を受け、その平安をこの世に伝える神の子として歩む者とならせていただきましょう。